

2024年 1月 14日 《寺澤潤一兄召天一周年記念礼拝》

主 日 礼 拝

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 洋子姉

賛 美 讚美歌312番「いつくしみ深き」
～あなたは愛されるため生まれた～

詩篇23篇

聖書朗読 ヨハネによる福音書3章1～16節

特別賛美 佐佐木ジョシュア氏 演歌賛美

メッセージ 「新しく生まれることから始まる永遠の命」
石井 潤 牧師

献 金 聖歌229番「おどろくばかりの」

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ～すべてのすべて～

☆礼拝にお越しくくださった皆様を心よりご歓迎いたします!☆
《今週のお知らせ》

★本日は、私たちの愛する寺澤潤一兄の召天一周年の記念の礼拝です。

ご遺族の皆様のお慰めをお祈り致します。(2023年1月16日召天)。

☆今週の祈り会：①早天祈禱会 明朝6時、②祈禱会：木曜午前10時半、
夜7時半(大和祈禱会ライブ映像)。③準備祈禱会：土曜夜8時。

★今週木曜午後2時から、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集会が行われます。
☆来週日曜礼拝では聖餐式。午後は執事会です。(司会：白川兄/祈り：石井兄)

★☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [1/14-21]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	創世記 36-37	38-40	41-42	43-44	45-47	48-50	マタイ 1-4	5-6
チェック	〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇

「新しく生まれることから始まる永遠の命」

～寺澤潤一さんの信仰から 神様に人生をお任せする～

「それゆえ、もしもだれかがキリスト（メシヤ）にある〈つき木される〉なら、その人は〈全く新しい被造物〉一つの新しい創造なのです。古いもの〈従来の道徳的また霊的状态〉はすでに過ぎ去ったのです。ごらん下さい、新鮮な〈新しい〉ものが来ました。」Ⅱコリント5章17節〔詳訳聖書〕

この言葉は、昨年1月19日にこの場所で行われた、寺澤潤一さんの告別式の中で私が引用させていただいた聖書の言葉です。

潤一さんは優秀でエネルギーが豊富な方でしたが、晩年、難病になられて、その弱さとの闘いの中で、神様におすがりすることができて、永遠の命を頂いて、天国に導かれたことをお話させていただきました。そして、一年が経ちました。皆様はこの一年間どのように歩まれて来られたでしょうか。あの日、潤一さんの告別式の時にお聞きした、天国の希望、その天国におられる潤一さんを想われたでしょうか。

聖書は私たちすべての人間は、もう一度新しく生まれ変わらなければならないと教えます。

しかし、そんなことは誰にもできません。しかし、誰にでも訪れるものがあります。それは「死」です。人は、「死」を通して永遠の世界への扉が開かれます。しかし、それは、肉体の死ということですが、もっと大切なことがあります。それは、私たちの魂です。肉体はただの入力物ではありませんが、その中心、本体はどこにあるのかというと、魂の中に存在しています。また、それは物理的には表現できません。科学でも証明できません。しかし、存在すると聖書は教えます。そして、その魂の中に存在する、私たち自身の本体が生まれ変わらないといけないのだと教えます。その新しい誕生は、お母さんが赤ちゃんを産むのとはちょっと違う、肉体的な誕生ではなく、霊的な誕生なのだということです。

今日の聖書箇所ヨハネ3章での、イエスと学者であるニコデモというユダヤ人との会話の中で、様々なことが語られていきます。イエスは言います。「人間は生まれ変わらないと永遠の命に生きることができない」。では、生まれ変わるためにどうしたらよいのか？それは、「神の霊である聖霊によって生まれ変わらせていただく他に方法はありません」と。

潤一さんの寝ておられる病室に行かせていただき、お会いして、「洗礼を授けるために来ました」と言いましたら、ちょっと驚いていた様子。でも、続けて、「イエス様を信じて天国に行きましょう！そのために洗礼をさずけさせていただきたいのです。よろしいですか？」と。しかし、その時はもうすでに言葉でお答えを頂ける状況ではありませんでしたので、正直はっきりとしたお答えをいただけた訳ではありませんが、そのまま、私の祈りを受け止めてくださいました。短い時間でしたが、後は、聖霊様が潤一さんを守り励まして、天国まで導いてくださったと確信しています。神様にお任せすることができること以上に、平安で幸福な人生はないと信じています！